

「IDA (イダ) 通信 第27号」を配信させていただきます。

今年も全国的に暑くなるようです。そして、電気代もさらなる値上げの予定があり、これまで以上に住宅の省エネ性能が重要で、エンドユーザーからも強く求められるでしょう。補助金を使った断熱改修の提案が大事ですね。

IDA コラム

断熱改修における断熱診断の必要性について

■ はじめに

住宅の断熱性能は、住まいの快適性やエネルギー効率に大きな影響を与えます。断熱改修を行う際に、効果的な改修を実現するためには、まず現在の断熱状況を正確に把握することが重要です。ここで役立つのが「**断熱診断**」です。本コラムでは、断熱改修における断熱診断の必要性について改めて解説します。

■ 断熱診断の役割

断熱診断は、現状の断熱性能を実測により評価し、問題点を明確にするための手段です。具体的には、以下のような役割を果たします。

1. 断熱性能の評価

断熱診断では、建物の各部位（壁、屋根、床などの外皮）の断熱性能を測定し、どの部分が熱の出入りが大きいかを特定します。これにより、改修が必要な箇所を的確に判断できます。

2. 問題箇所の特定

診断により、結露やカビの発生原因となる断熱欠損や隙間を発見することができます。これにより、健康被害を防ぎ、建物の耐久性を向上させ、条件によって、雨漏れ箇所も特定することが可能です。

3. 改修プランの最適化

既存建物の正確な断熱診断結果を基に、効果的な改修プランを立てることができます。限られた予算の中で最も効果的な改修を実現するために、診断結果は不可欠です。

断熱診断に合わせて気密測定も行うことで、気密工事の必要性や漏気個所の特定につながり、より詳細な改修計画の立案が可能となります。

■ 断熱改修の提案ツール

断熱改修により得られるメリットは多岐にわたりますが、主に以下の通りです。

1. エネルギーコストの削減

効果的な断熱改修により、暖房や冷房にかかるエネルギーコストを大幅に削減できます。

2. 快適な居住環境の実現

室内の温度ムラが減り、季節を問わず快適な居住環境を保つことができます。

3. 建物の長寿命化

断熱性能の向上は、結露やカビの発生を防ぎ、建物の耐久性を向上させます。

これらは、断熱診断により説得力のある提案を行うことが可能で、**営業ツール**として大きな武器となります。

■ まとめ

エンドユーザーが満足する断熱改修を提供するには、断熱診断の実施が不可欠です。現状の断熱性能を正確に把握し、的確な改修プランを立てることで、エネルギー効率の向上や快適な住環境の実現が可能となります。断熱診断の重要性を理解し、専門家による診断を受けることで、より効果的な断熱改修を実現しましょう。



会社でできる!! 「夏の省エネ対策」

電力需要が増える夏季の省エネルギーの取組を推進するため、経済産業省エネルギー庁より省エネに関するお知らせが出ています。

暑い夏は、エネルギーの使用が増える季節です。オフィスでの、省エネの具体的な取り組みをご紹介します。全オフィスで消費電力の1%を削減すると、毎日、家庭約16万世帯が消費する電力と同程度のエネルギーが削減できます。

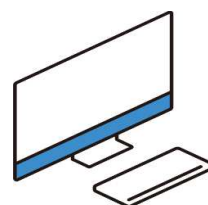
■冷房の対策と省エネ効果：

- ・執務室の冷やしすぎに注意し、無理のない範囲で室内温度を上げる
※熱中症にご注意ください。【省エネ効果約4%】
- ・日中の日射を避けるために、ブラインド、カーテン、遮熱フィルム、ひさし、すだれを活用する【省エネ効果約4%】
- ・使用していないエリア（会議室、休憩室等）は、空調を停止する【省エネ効果約2%】



■照明の対策と省エネ効果：

- ・可能な範囲で執務室や店舗エリアの照明を間引きする（省エネ効果は照明を半分程度間引きした際の数値）【省エネ効果約13%】
- ・使用していないエリアは消灯する【省エネ効果約3%】



■OA機器の対策と省エネ効果：

- ・長時間離れるときは、OA機器のスタンバイモードにする【省エネ効果約3%】

■その他 温水洗浄便座：

- ・使用状況を確認し、夏は便座や水の温度設定を「切」にしたり、長時間使わないトイレはコンセント自体を抜いたりしましょう

■電気ポット：

- ・温度設定を見直したり、省エネモードにするなど、設定を確認しましょう。使わないときには、電源をオフにしましょう



■自動車：

- ・自動車を利用する場合には、エコドライブ10のすすめを実践してみましょう（ふんわりアクセル、減速時は早めにアクセルを離す、無駄なアイドリングはしない等）

出典：経済産業省資源エネルギー庁：<https://www.meti.go.jp/press/2023/06/20230609003/20230609003.html>

東京都の賃貸オーナー向け補助金6/28に公募スタート!! 断熱診断には100%補助

東京都では、都内住宅の約7割を占める集合住宅の省エネ化や再エネ利用を進めています。本事業では、賃貸住宅に対して、省エネ改修後に省エネ性能の診断を実施し、その結果を不動産広告などに掲載することを要件に、省エネ改修や省エネ性能の診断等にかかる経費を助成します。

HP:https://www.tokyo-co2down.jp/subsidy/tintai_syouene_saiene

【補助概要】

- ・高断熱窓：30万円/戸（2/3）
- ・高断熱ドア：27万円/戸（2/3）
- ・断熱材改修：60万円/戸（2/3）
- ・図面作成：10万円（10/10）
- ・省エネ診断：120万円/件（10/10）

※金額は上限、（ ）内は補助率

Insulation Diagnostic Promotion Association NEWSLETTER

発行元



一般社団法人
断熱診断普及協会

札幌市南区南沢2条3丁目13-30(J建築システム内)
TEL:011-573-7779 E-mail:jjj-s@j-kenchiku.co.jp